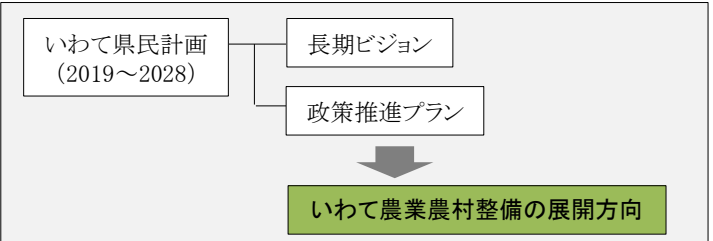


「いわて農業農村整備の展開方向（2019～2022）」の概要

「いわて農業農村整備の展開方向」は、平成22年2月に策定した「希望郷いわての農業農村整備計画」の後継として、本県の農業農村整備の展開方向を中長期的な視点で示すもので、次のような役割を担っています。

- 「いわて県民計画(2019～2028)」に掲げる農業部門の政策目標の達成に向け、農業農村整備分野の施策の展開方向を明らかにしたもの(4年毎に見直し)
- 市町村や土地改良区等の関係団体が諸計画を策定する際、参考にしていただくことを通じ県施策との一体的な展開を期待
- 持続的に発展できる農業と魅力あふれる農村社会の形成に向け、農業者や地域の方々の自発的な取組や合意形成を支援



「いわて農業農村整備の展開方向」の重点施策

産業政策

地域政策

重点施策Ⅰ： 地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現

【展開方向】

- ① 水田の大区画化と汎用化の推進
- ② ほ場整備を契機とした担い手への農地集積の推進
- ③ 畑地かんがい施設の整備の推進
- ④ 中山間地域における地域の特性に応じた基盤整備の推進

【主な指標】

水田整備面積(累計) [2017] 14,465ha → [2022] 16,000ha

【中山間地域の未整備水田】



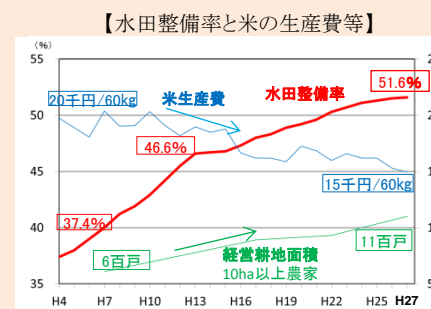
【整備前】



【整備後】



産業政策を下支え



重点施策Ⅲ： 快適で活力のある農村づくり

【展開方向】

- ① 多様な主体の参画による農地・農業用水など地域資源の保全
- ② 農道や農業集落排水施設の保安全管理による快適な生活環境の維持・増進
- ③ 農業水利施設を活用した小水力発電施設の更なる導入の促進

【主な指標】

地域共同活動による農地等の保安全管理への参加人数
[2017] 81,655人 → [2022] 83,155人

【農道橋点検】



【地域共同による草刈活動】



【女性グループによる植栽活動】



【水路式(開放型下掛け水車)】



地域政策を下支え

重点施策Ⅱ： 農業水利施設の適切な保安全管理の推進と管理体制の充実

【展開方向】

- ① 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保安全管理の推進
- ② 土地改良区の運営基盤強化に向けた取組の推進

【主な指標】

農業用排水路等の長寿命化対策着手施設数(累計)
[2017] 81施設 → [2022] 97施設

【保全対策前】



【保全対策後】



【耐用年数を超過した水路(建設後約50年)】



【経年劣化による腐食の発生(建設後約25年)】



産業政策を下支え

重点施策Ⅳ： ため池等の農業水利施設の防災・減災対策

【展開方向】

- ① 自然災害の未然防止に向けた計画的な防災対策の推進
- ② 地域の防災意識を高める取組の推進

【主な指標】

ハザードマップ作成等ソフト対策を実施した防災重点ため池の割合
[2017] 4% → [2022] 100%

【対策が必要なため池】



【ため池の対策工事状況】



【ため池ハザードマップの作成例】



地域政策を下支え